



期待に応える金属加工の匠集団

◆事業内容

1915年に脱穀機や除草機を手掛ける農機具製造業として創業されましたが、時代の変革に伴い1950年代前半より船舶用部品製造に転換。その後は時代とともに発電用ボイラーや原動機など大型産業機器分野へと事業を拡大し、昨年110周年を迎えられました。

現在は製缶加工、機械加工、ファブデッキ(床工事に使用される建材)製造を主力とされています。製缶加工・機械加工では小物加工から大型部品まで高精度に加工できる強みを生かし、プラント設備や発電用機器など私たちの生活を支える製品を製造。最近では非鉄金属加工にも注力し、更なる技術向上に積極的に取り組まれています。ファブデッキ部門では大手商社を介し開発された製品を関西唯一の工場として製造。建設工期短縮や管理の合理化、耐震性の向上等に貢献されています。このように井河原産業株式会社の製品は私たちの生活の土台として様々な分野で活躍しています。

◆「うちにしかできない」ものづくり

主力事業を転換しながら時代の波を乗り越えられた要因には「うちにしかできない」ものを製造する姿勢が挙げられます。

かつて発電用ボイラー関連へ切り替えた際には製造だけでなく、設計・品質管理・現地での組み立てにも携わることで設計から納品までの一貫体制を構築。主要顧客との関係を従来以上に深め、他社が真似できないオリジナル事業へ成長しました。

現在では大型部品を高精度で加工できる匠の技術・設備や材料調達から組立までを一貫して対応できる体制を武器に各種産業機械やプラント関連、土木機械などへ展開されています。

◆新たな分野への進出

今後需要の増加が見込まれる脱炭素関連事業に取り組むため先行投資をされています。2023年には大型複合加工機を導入することで風力発電機部品等に使用される難削材の高

精度な加工への対応を実現。これにより製缶から機械加工まで一貫して受注できる体制を構築されています。また水素等の次世代エネルギーに関して地元大学や大手メーカーと事業化に向けた議論を開始。さらに大手重工業メーカーからの声掛けを受け、航空宇宙関連・原子力関連への進出にも積極的に取り組まれています。

◆今後の展開に期待

井河原産業株式会社は豊富な実績によって培われた知識と技術力によって、お客様からの要望に応え続けています。新たな時代のものづくりに意欲的に取り組む井河原産業株式会社は、今後も立ち止まることなく成長と革新を続けていかれます。



井河原産業株式会社

代表者 井河原 敏夫
所在地 たつの市揖保川町正條 213

HP

